



ときのまど

# 時の窓

TOKI NO MADO

No.187

2016/4/25

## 「暮らしむきアンケート」全国から911通 ご協力ありがとうございました！！



昨年末から全国で実施した「青年の暮らしむきアンケート」については、みなさまのご協力のもと、911通の回答を得ることができました。昨年度の集約数は988通でしたので、やや減少してしまいましたが、今年度も全国各地の青年職員から回答を得ることができました。

今年度はとりわけ、青年組合員数を超えて回答を集約した支部がいくつか見受けられ、未加入者にも協力を求めるなど、積極的にとりこんでいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

今号では、以下のとおり、全国の集約結果のうち、特徴的なものを紹介させていただきます。

(以下、カッコ内の数値は昨年度のものです。)

### 「改善傾向」でも依然「苦しい」生活

「あなたの生活状況はどうか。」に対する回答は、「かなり苦しい」が7.5% (8.4%)、「やや苦しい」が53.1% (54.9%)となる一方で、「ややゆとりがある」が36.6% (35.4%)となるなど、一定の改善傾向がみられました。その他の設問についても、基本的には生活状況の改善傾向を示しています。これらはこの間の給与の改善などによるものと考えられますが、「賃下げ特例法」終了の影響を受けた昨年度ほどの改善傾向はみられませんでした。

なお、「かなり苦しい」「やや苦しい」との回答が全体の6割を超え、未だ過半数となっています。初任給をはじめとした賃上げはもちろん、住居手当や地域手当など諸手当の改善を求めていく必要があります。

### 「異動」「超勤・休暇出しづらい」 調査官の回答が顕著

職場の不満・改善要求に関する回答は、「異動」が40%と最も高く、次いで「人手不足」が33.5%、「宿日直」が23.4%となりました。

その他、書記官の「OA」に対する不満・改善要求は23.1%と全体の16.9%と比べて高く、調査官の「異動」については、75%もの高い割合となっています。なお、調査官の「超勤・休暇が出しづらい」も12.5%と全体に比べて高い割合となっています。

### 結婚休暇「制度知らない」3名

「結婚休暇を取得できなかった」との回答が22.2% (有効回答中)であり、その理由として、「仕事が繁忙のため」が24.1%となっています。なお、「制度自体を知らなかった」と回答した人が3名いました。

### 宿直翌日は無理して仕事！？

「宿直翌日に休暇を取得したくても取得できなかった」との回答が31.4% (有効回答中)となりました。取得できなかった理由としては「仕事が繁忙のため」との回答が82%と極めて高い割合となっており、宿直翌日に無理をして働いている実態が浮き彫りになっています。

### 3人に1人「ただ働き残業したことある」

2015年4月以降に、「ただ働き残業をしたことがある」との回答が35%となりました。昨年度よりも1.3%減少しましたが、およそ3割強の青年職員がただ働き残業をしている実態が浮き彫りになりました。

なお、書記官は42.9%、調査官は60%と相対的に高い割合となっています。とりわけ、若手調査官を取り巻く職場実態に大きな問題があることが明らかとなりました。

### 「血液検査」「婦人ガン検診」充実求める

この設問は、今年度新たに追加しました。健康診断の検査項目について、「血液検査」の受検を求める回答が62%と最も高く、次いで、「胃の検査」が19.4%となりました。

なお、自由記載欄において「婦人ガン検診」の充実を求める意見が多くみられました。

青年協は、今回のアンケート結果を踏まえ、2月に実施した最高裁交渉において、当局を迫りました。今後、6月に実施する最高裁交渉にむけて、より一層職場実態を把握していきたいと考えていますので、職場での問題点等がありましたら青年部等を通じてご報告いただくようお願いいたします。

新採用職員のみなさん  
ご入所おめでとうございます☆

全国各地（一部）  
歓迎会のようす

和歌山

大阪

静岡

横浜

東京

## 最高裁はかく語りき

コラム  
Vol.8

### 初任給について

#### 【青年協】

初任給の官民格差については、高卒で△14,348円、大卒で△20,834円にもなる。公務員賃金が「情勢適応の原則」に基づき決定されるものであるならば、青年層における初任給を初めとした官民格差の速やかな是正を求める。

#### 【最高裁】

初任給をどのように格付けるかは国家公務員全体の問題であって、裁判所の独自性を主張できるようなものではない。職員団体の要望等は人事院に伝えることとしたい。

2016年春闘期における最高裁交渉(青年協)

### 熊本を中心とした九州のみなさん

青年協議長の山本です。

今回の地震で被災された組合員とご家族、被災地のみなさんに心よりお見舞い申し上げます。

青年協としても、私たちができることに全力を挙げたいと考えています。もし、何らかの被害に遭われた場合には、近くの組合員や役員に連絡をお願いいたします。こんな時こそ全国一丸となって助け合ってください。

### 次号予告

全国各地新採用歓迎会のようす